

“火”に親しむ新プログラムを導入 年間3千人超が参加の出張授業

京葉ガスが地域の小中学校などで実施している出張授業に、平成25年度から新プログラム「ものの燃え方と炎のチカラ」が加わります。平成24年度の年間参加者数は3355人と3年連続で3千人の大台を超えました。

出張授業は、楽しく親しみやすい体験を通じて、子どもたちに“エネルギー”や“エコ”について関心を持ってもらうことを目的に、当社がガスをお届けしている地域の小中学校を対象として平成16年から実施しています。「都市ガスが届くまで」や「冷熱実験」「エコ・クッキング(※)」などのプログラムがあり、映像の視聴や実験、実習などを通じて、身近な視点でエネルギーや環境問題について紹介しています。



人気のプログラム「冷熱実験」の授業風景

今年取り組み開始から10年目となる出張授業は、最近3年ほどの実施回数が年間約100回、参加者数は3千人を超えるようになりました。開催実績のある学校からの申し込みが多く、参加した児童や生徒からは「実験がおもしろかった」「また来てほしい」、先生方からは「子どもたちの目が輝いていた」「学習に生かすことができた」などの感想をいただいています。

平成25年度は新プログラム「ものの燃え方と炎のチカラ」を導入しました。火を扱う機会が減った子どもたちに、マッチやろうそく、ブンゼンバーナー、ガスコンロなどを使った実習を通じて、火の効用や火を使う際のポイントを学んでもらう内容です。子どもたちが「生きる力」を身につけ、温かみのある豊かな暮らしを送れることを目的としています。

今年度も5つのプログラムを用意し、次世代教育のお手伝いとして出張授業に取り組んでいきます。

※「エコ・クッキング」は東京ガス株式会社の登録商標です。

